



いよいよ収穫の季節となりました。
適期刈り取りにつとめましょう!

秋田地区営農センター 主任 中川 喜樹

●刈り取り適期の目安

- ◆早生種【あきたこまち等】…出穂後45日頃
- ◆中晚生種【めんこいな等】…出穂後50日頃

●糲の黄化程度

葉や穂首が緑色であっても、糲の黄化程度90%を適期とします。



●出穂後の積算気温による判定

- ◆早生種【あきたこまち等】…950～1,050℃
- ◆中晚生種【めんこいな等】…1,050～1,150℃

●積算気温到達日(参考)

アメダス 地点		出 穗 日			平年値
		8月2日(盛期)	8月5日	8月8日	
秋 田	950℃到達日	9月11日	9月14日	9月18日	9月11日
	1,050℃到達日	9月15日	9月19日	9月23日	9月16日
	1,150℃到達日	9月21日	9月25日	9月29日	9月21日

※8月21日まで本年値、それ以降は平年値で試算

秋作業時の注意点

刈り取り

刈り取りが遅れますと胴割れ、発芽等の被害粒が発生しますので、刈り取り適期を逃さないよう注意しましょう。

量 目

計量器の点検と調整は忘れず行なつてください。量目不足の場合、不足分の補充等をお願いする場合があります。量目は紙袋で30.5kg、フレコンで1,032kgとなります。

水 分

水分は15.0%以下を目指に調整をお願いします。乾燥の際、生糲の水分に注意し、むら乾燥、胴割米等が生じないようにしましょう。

栽培履歴

JA米の条件のひとつとして栽培履歴の記帳と提出が必須となっています。まだ履歴を提出されていない方は早急に最寄りの支店またはグリーンセンターへ提出をお願いします。

調整作業

整粒歩合80%以上を目指に、適正な流量で選別を行ってください。1.9mmの選別網を使用することで、カメムシ斑点米の混入を抑えやすくなります。また、例年異物(ガラス、金属片、死骸など)が混入している米があります。**機械の清掃を必ず行ってから**調整作業をし、最初の米は出荷せず、飯米等へ回してください。